

◎ 教育アンケート結果の概要について

1 調査目的

一般市民・保護者・教員・児童生徒が「横須賀が目指す子ども像」「目指す子どもの教育の姿」をどう捉えているかなど、現行の教育振興基本計画に掲げる目標・施策に対する実感や望ましい学校像、教員像等を伺い、次期計画策定及び今後の教育政策の参考とします。

2 実施時期

令和2年（2020年）11月2日～11月30日

3 有効回答数

(1) 一般市民（無作為抽出）・保護者・教員用アンケート

区分	配布数	有効回答数			有効回答率
		紙	インターネット	計	
一般市民	2,000	488	115	603	30.2%
保護者	491	261	83	344	70.1%
教員	544	305	110	415	76.3%
計	3,035	1,054	308	1,362	44.9%

※有効回答数のうちインターネット回答の割合は22.6%

(2) 児童生徒用

	配布数	有効回答数	有効回答率
児童生徒合計	1,302	1,161	89.2%

※全て紙の調査票で実施

4 調査結果の概要

このアンケートでは、一部の設問に「DI値」の考え方を利用し、教育振興基本計画が掲げる目標や施策について、回答者の実感を「現在について」と「以前（4～5年前）との比較」で尋ねました。

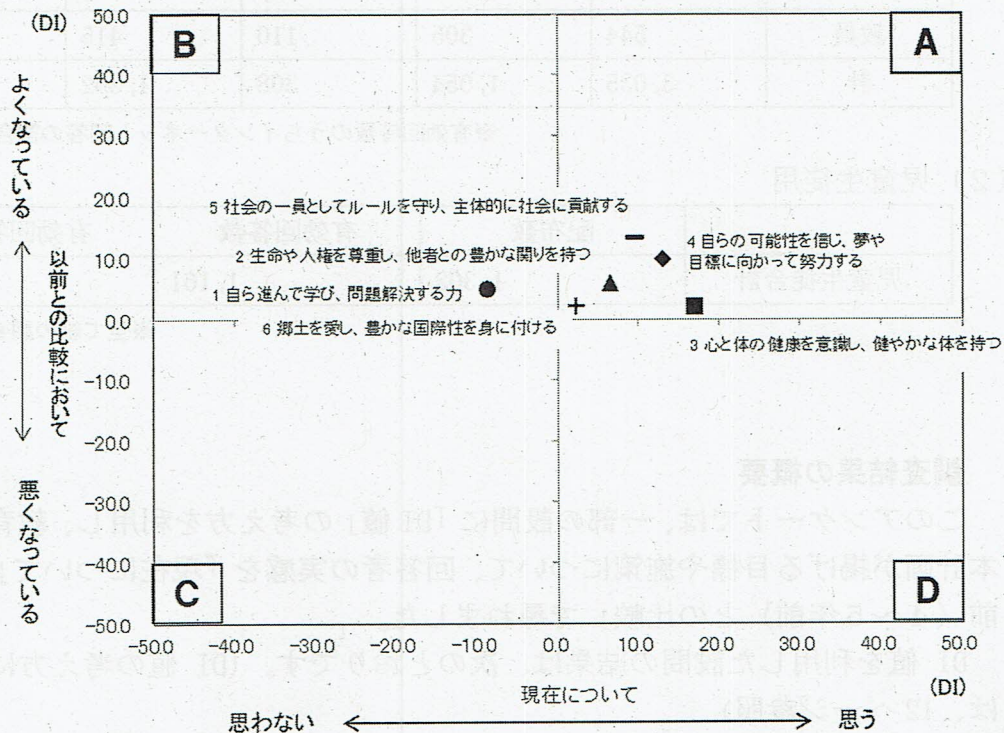
DI値を利用した設問の結果は、次のとおりです。（DI値の考え方については、12ページ参照）

1 横須賀の子ども像「人間性豊かな子ども」について -特に大切にしたい6つの要素-

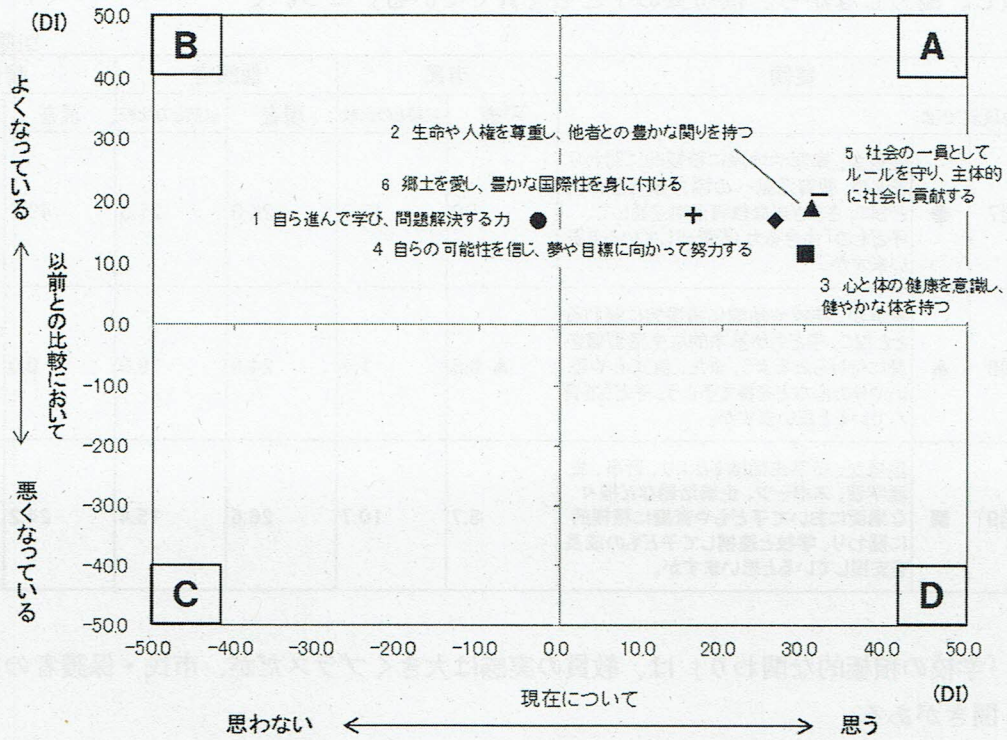
質問		市民		保護者		DI値(ポイント)	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
横須賀の子どもは、							
問1	● 自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けていると思いますか。	▲ 8.7	5.0	▲ 2.7	16.9	▲ 1.0	21.3
問2	▲ 生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っていると思いますか。	6.5	6.0	30.9	19.1	29.1	21.4
問3	■ 心と体の健康を意識し、健やかな体を持っていると思いますか。	17.0	2.1	30.2	11.6	11.6	▲ 9.4
問4	◆ 自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力していると思いますか。	13.0	9.8	26.5	16.9	16.6	10.5
問5	- 社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献していると思いますか。	9.6	13.2	31.9	20.9	22.1	20.6
問6	+ 郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けていると思いますか。	2.3	2.1	16.4	17.8	17.9	18.4

- ・「人間性豊かな子ども」を目指す上で特に大切にしている問1から問6の6つの要素の中で「現在」のポイント(実感)が最も低い(良好でない)のは、市民・保護者・教員いずれにおいても、「自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている」である。
- ・「心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている」は、市民・保護者・教員いずれも「現在」の実感は「良好」だが、「以前との比較」ではポイントが低くなる(特に教員)。
- ・他の要素は「良好・改善」だが、市民より保護者・教員の方が、ポイントが高い。

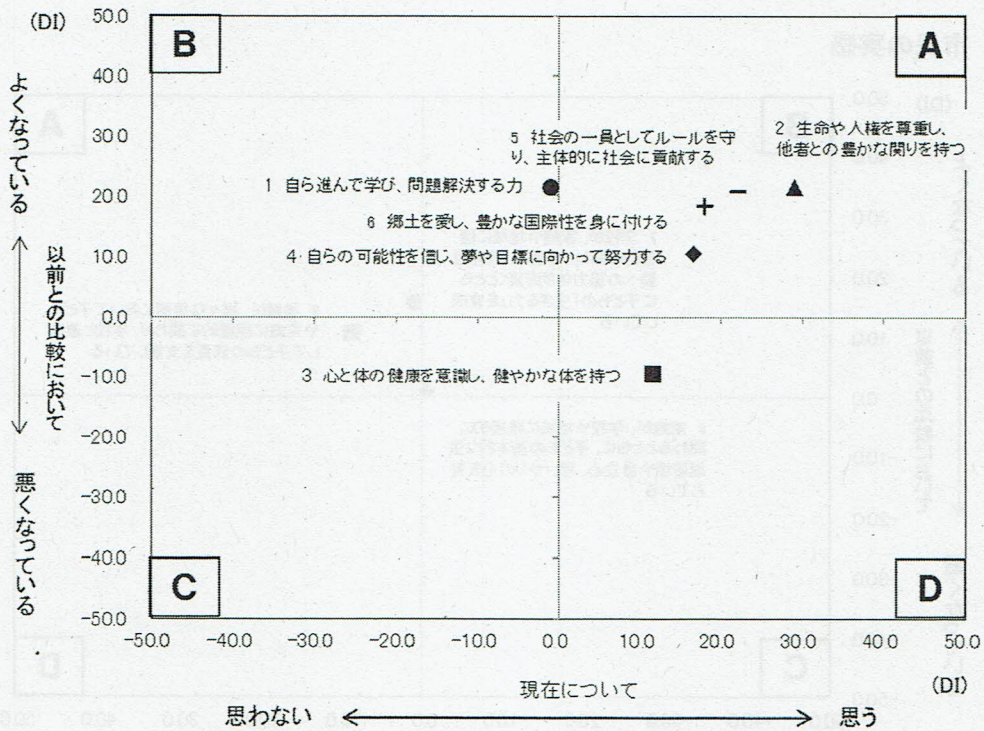
(1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感

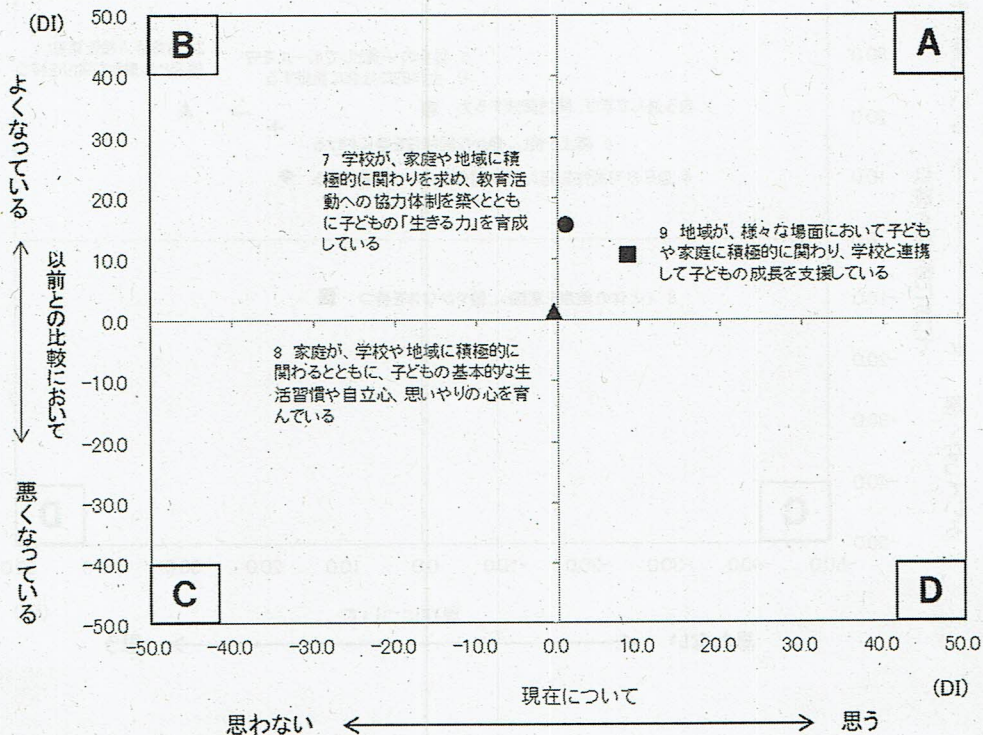


2 目指す子どもの教育の姿「学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている」について

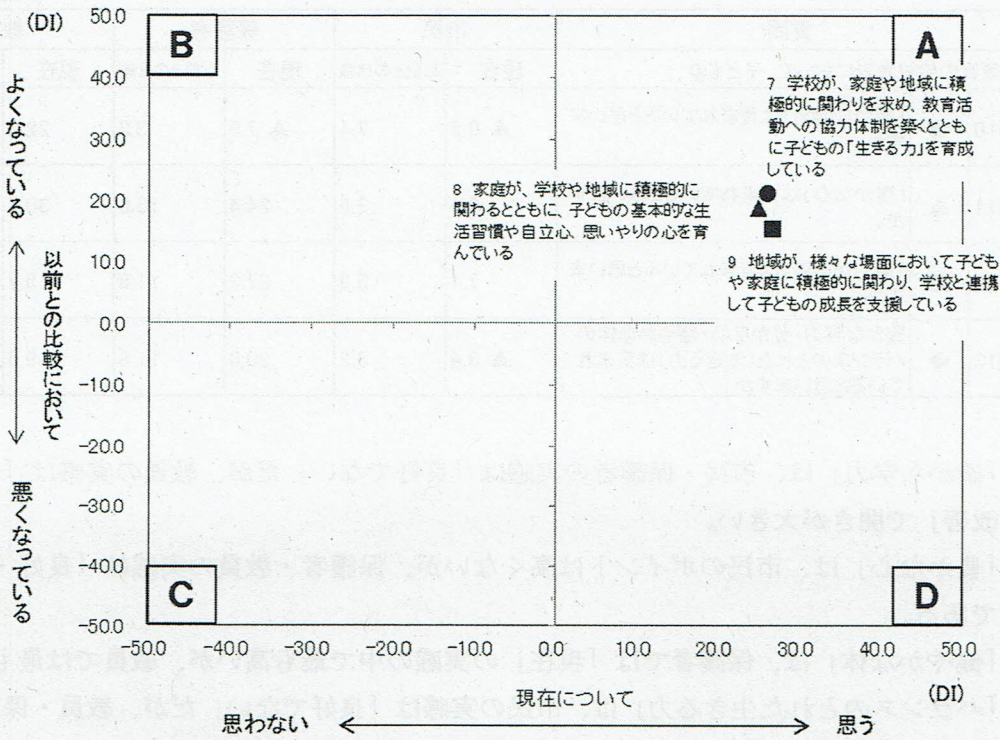
質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問7	●	1.0	15.7	26.0	21.3	49.7	36.5
問8	▲	▲ 0.5	1.4	24.9	18.9	0.0	▲ 9.4
問9	■	8.7	10.7	26.6	15.4	24.2	18.6

- ・「学校の積極的な関わり」は、教員の実感は大きくプラスだが、市民・保護者の実感と開きがある。
- ・「家庭の積極的な関わり」は、保護者の実感「良好・改善」だが、市民・教員のパイントは高くない。
- ・「地域の積極的な関わり」は、市民・保護者・教員いずれも「良好・改善」である。

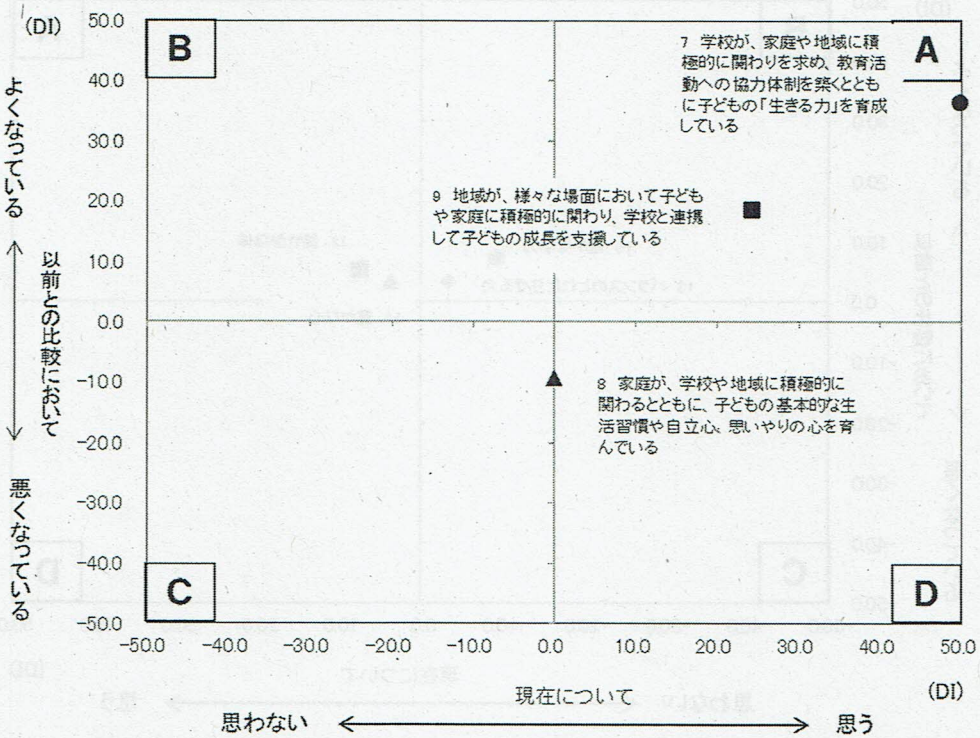
(1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感



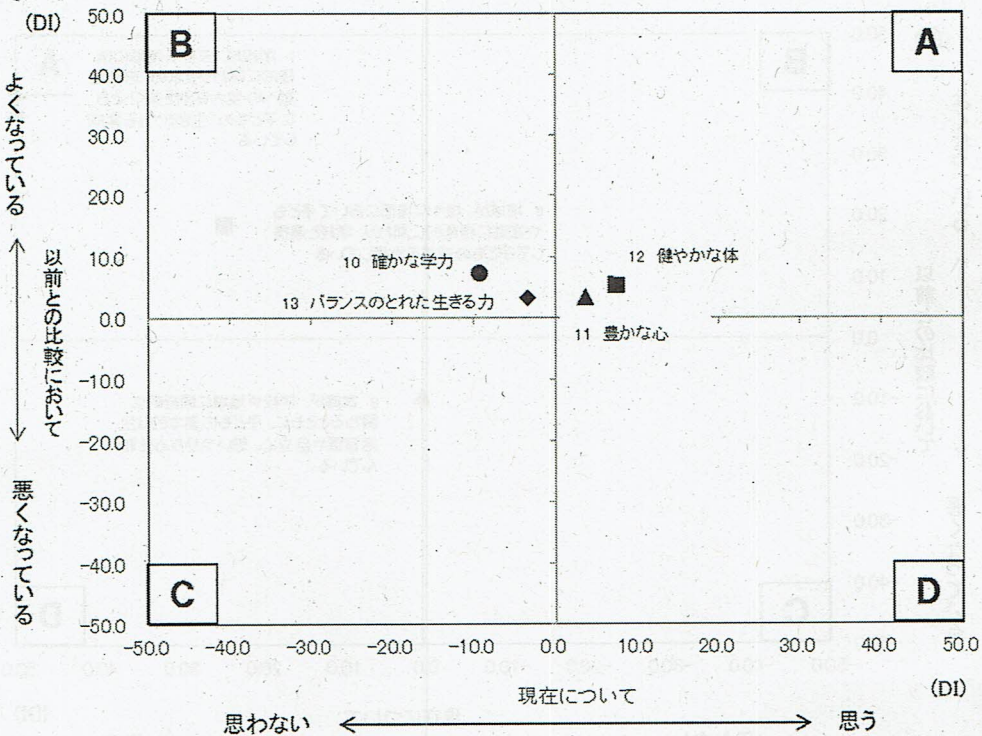
### 3 学校教育における「生きる力」の育成について

DI値(ポイント)

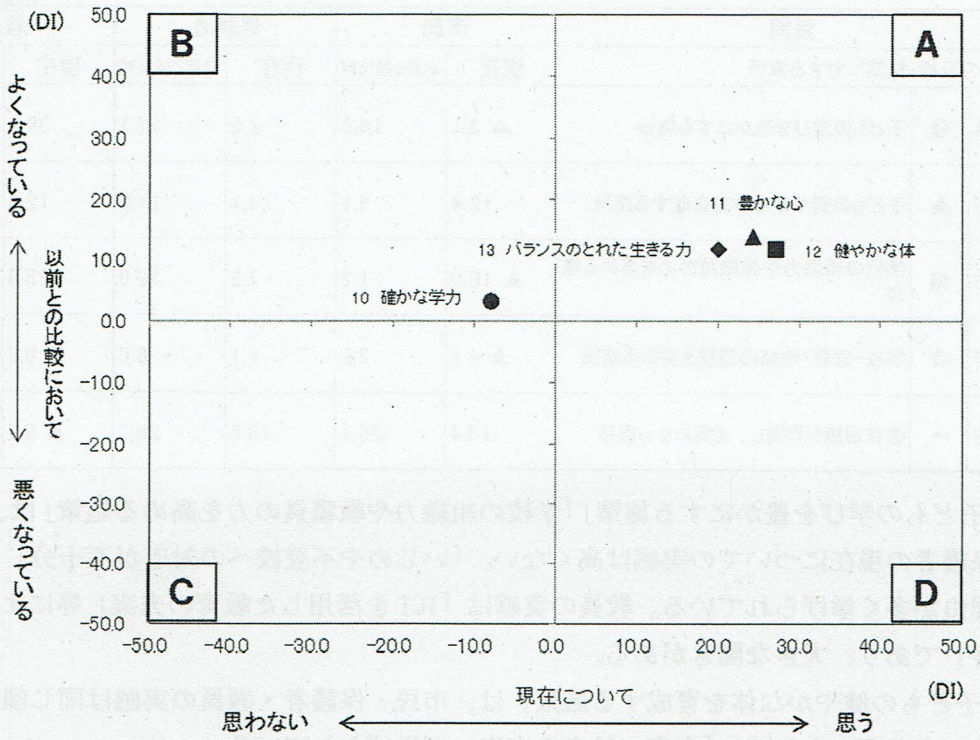
質問		市民		保護者		教員	
横須賀の学校教育において、子どもの		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問10	● 「確かな学力」は育まれていると思いますか。	▲ 9.3	7.4	▲ 7.8	3.2	22.3	30.8
問11	▲ 「豊かな心」は育まれていると思いますか。	3.6	3.5	24.4	13.8	30.4	28.8
問12	■ 「健やかな体」は育まれていると思いますか。	7.4	5.3	27.2	11.8	15.7	7.0
問13	◆ 確かな学力・豊かな心・健やかな体のバランスのとれた「生きる力」は育まれていると思いますか	▲ 3.4	3.2	20.0	11.8	19.5	20.7

- ・「確かな学力」は、市民・保護者の実感は「良好でない」だが、教員の実感は「良好・改善」で開きが大きい。
- ・「豊かな心」は、市民のポイントは高くないが、保護者・教員の実感は「良好・改善」である。
- ・「健やかな体」は、保護者では「現在」の実感の中で最も高いが、教員では最も低い。
- ・「バランスのとれた生きる力」は、市民の実感「良好でない」だが、教員・保護者の実感は「良好・改善」である。

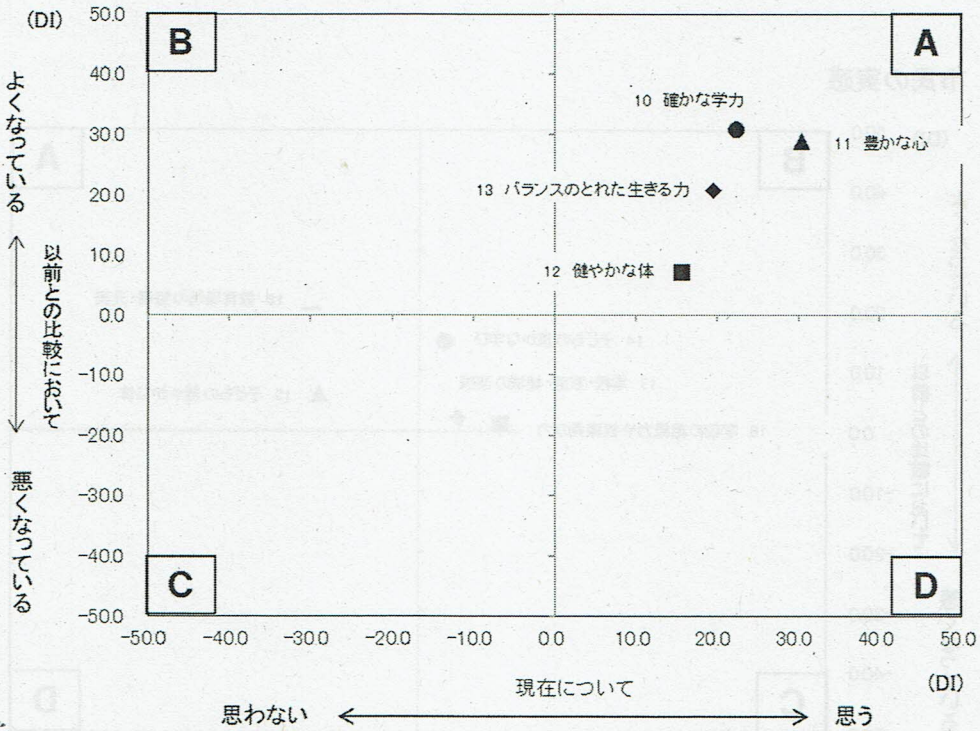
#### (1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感

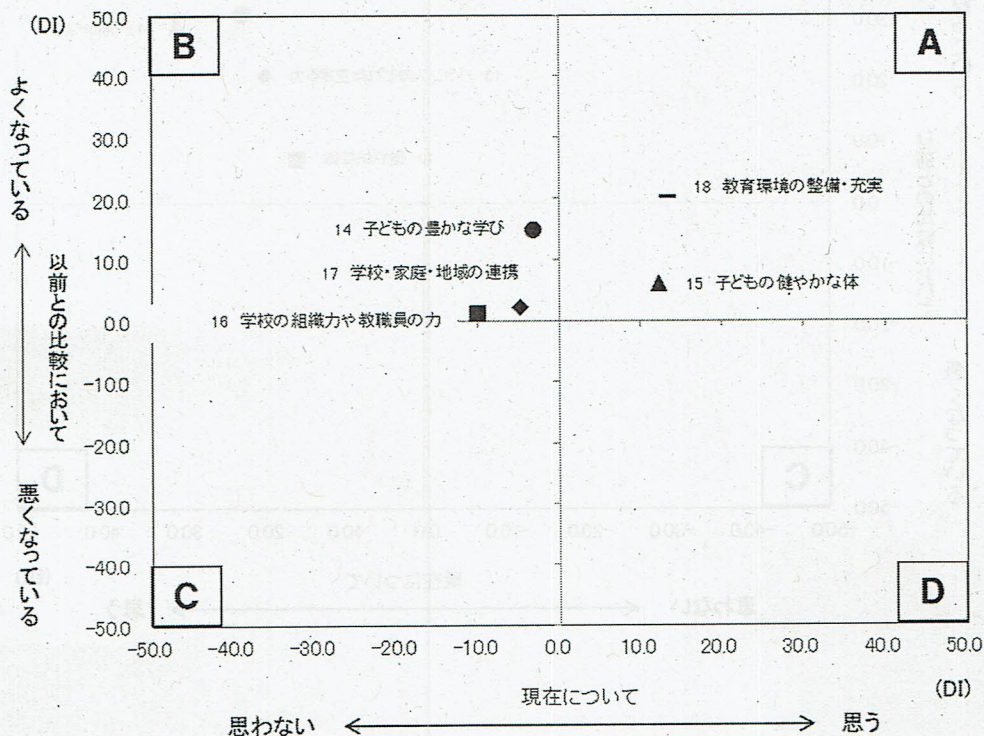


#### 4 学校教育における各目標・施策について

		DI値(ポイント)					
質問		市民		保護者		教員	
以下の目標・施策に対する実感		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問14	● 子どもの学びを豊かにする施策	▲ 3.1	14.8	2.5	17.1	39.8	48.7
問15	▲ 子どもの健やかな体を育成する施策	12.4	6.1	24.1	11.2	12.8	7.0
問16	■ 学校の組織力や教職員の力を高める施策	▲ 10.0	1.2	7.2	12.0	25.8	18.2
問17	◆ 学校・家庭・地域の連携を深める施策	▲ 4.7	2.2	6.1	8.0	9.8	6.9
問18	— 教育環境を整備し、充実させる施策	13.4	20.1	16.5	25.9	▲ 3.7	17.4

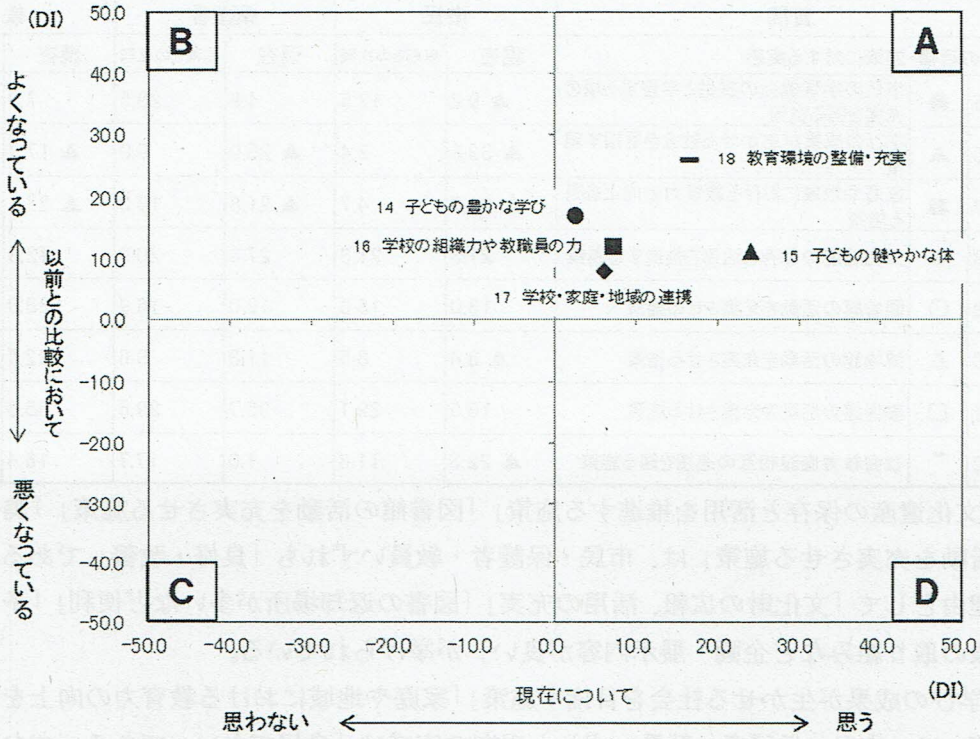
- ・「子どもの学びを豊かにする施策」「学校の組織力や教職員の力を高める施策」は、市民・保護者の現在についての実感は高くない。「いじめや不登校への対応が不十分」という理由が多く挙げられている。教員の実感は「ICTを活用した教育の充実」等により「良好」であり、大きな開きがある。
- ・「子どもの健やかな体を育成する施策」は、市民・保護者・教員の実感は同じ傾向にある。主な理由として、「食育、給食の充実」が挙げられている。
- ・「教育環境の整備・充実」は、市民・保護者の実感はいずれも「良好・改善」である。主な理由として「エアコン等学校施設、設備の充実」が挙げられている。教員の実感はマイナスであり、主な理由として「教員の人手不足」が挙げられている。

##### (1) 市民の実感

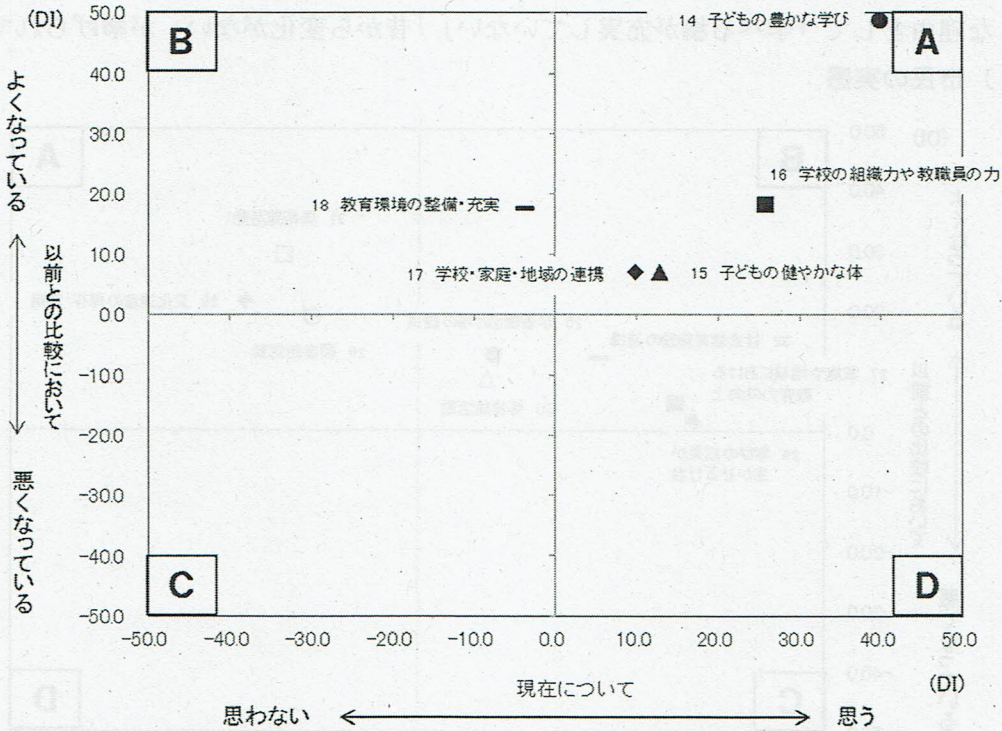




(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感



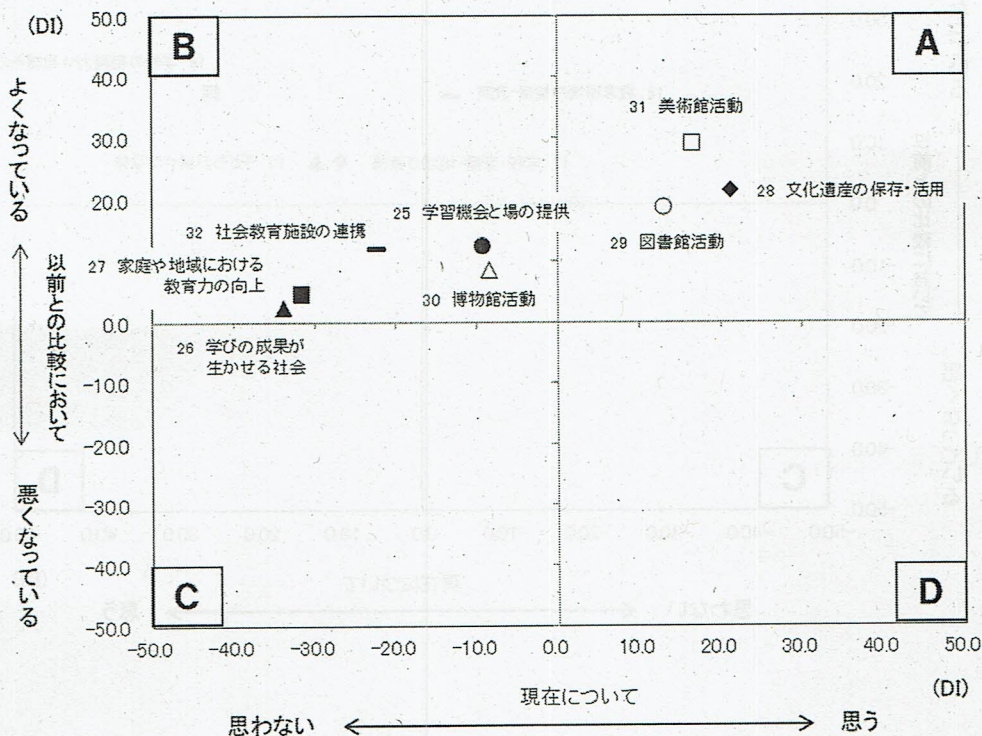
## 5 社会教育における目標・施策について

DI値(ポイント)

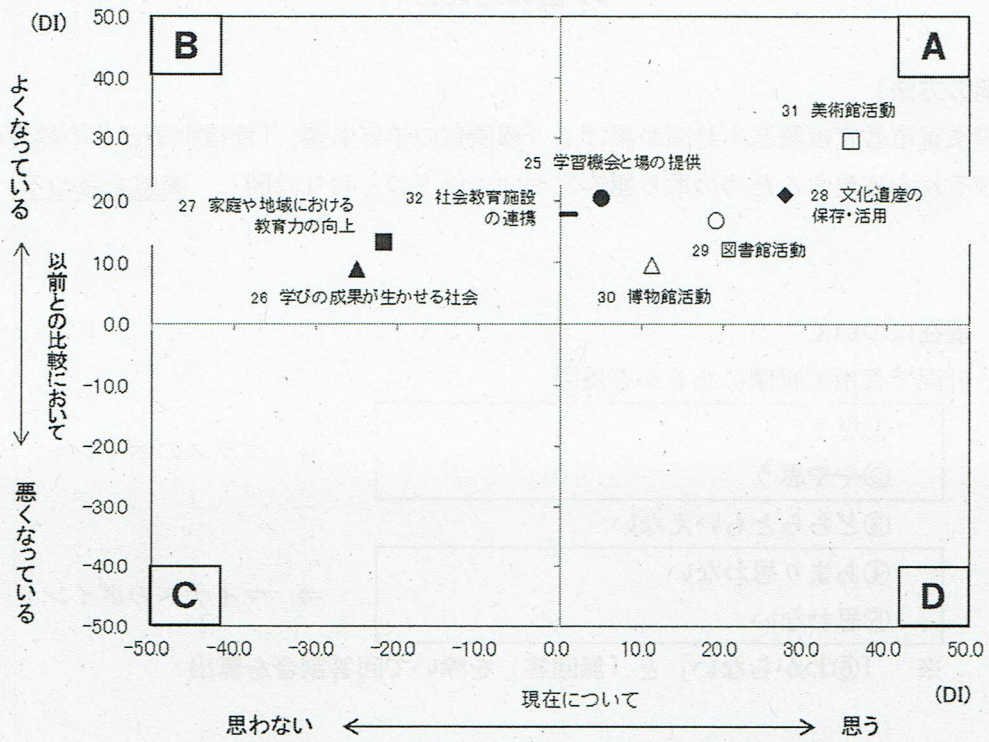
質問		市民		保護者		教員	
以下の目標・施策に対する実感		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問25	● 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策	▲ 9.2	12.5	4.9	20.5	7.3	26.0
問26	▲ 学びの成果が生かせる社会を目指す施策	▲ 33.8	2.4	▲ 25.0	9.0	▲ 17.7	8.1
問27	■ 家庭や地域における教育力の向上を図る施策	▲ 31.7	4.7	▲ 21.8	13.3	▲ 27.1	0.8
問28	◆ 文化遺産の保存と活用を推進する施策	21.3	21.3	27.6	20.9	42.3	27.1
問29	○ 図書館の活動を充実させる施策	13.0	18.8	19.0	16.9	38.0	40.2
問30	△ 博物館の活動を充実させる施策	▲ 8.4	8.5	11.3	9.6	22.4	26.1
問31	□ 美術館の活動を充実させる施策	16.5	29.1	35.7	29.6	55.6	44.9
問32	— 社会教育施設相互の連携を図る施策	▲ 22.3	11.8	1.0	17.7	16.4	25.0

- ・「文化遺産の保存と活用を推進する施策」「図書館の活動を充実させる施策」「美術館の活動を充実させる施策」は、市民・保護者・教員いずれも「良好・改善」である。主な理由として「文化財の広報、活用の充実」「図書の返却場所が多いなど便利」「子ども対象の取り組みなど企画・展示内容が良い」が挙げられている。
- ・「学びの成果が生かせる社会を目指す施策」「家庭や地域における教育力の向上を図る施策」は、市民・保護者・教員いずれも現在の実感は「良好でない」である。主な理由として「成果を発揮する機会がない」「取り組み内容を知らない」が挙げられている。
- ・「市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策」「博物館の活動を充実させる施策」は、保護者・教員の現在の実感は「良好」だが、市民の実感はマイナスである。マイナスの主な理由として「学べる場が充実していない」「昔から変化がない」が挙げられている。

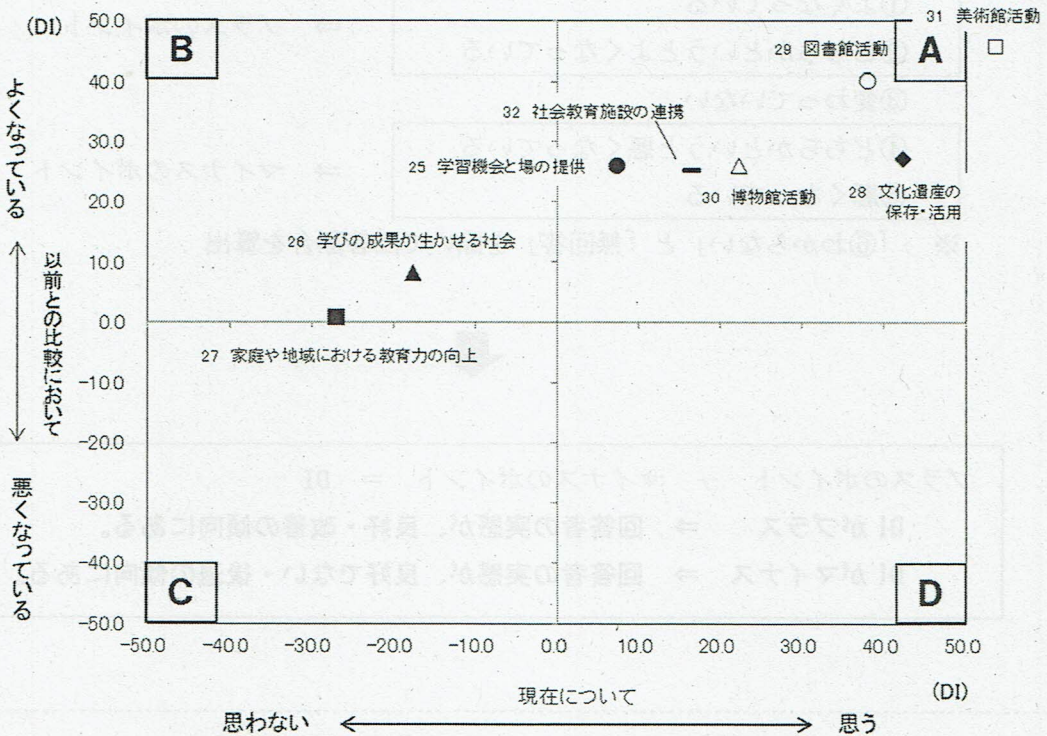
### (1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感



## DI 値の考え方

### 【設問の方法】

横須賀市教育振興基本計画が掲げる「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」及びそれを実現するための取り組みについて以下のとおり設問し、実感を尋ねる。

#### (1) 現在について

計画で目指す状態にあるかを質問

①思う

②やや思う

③どちらともいえない

④あまり思わない

⑤思わない

⇒ プラスのポイント

⇒ マイナスのポイント

※ 「⑥わからない」と「無回答」を除いて回答割合を算出

#### (2) 以前（4～5年前）との比較

計画で目指す状態に向かってどうなっているかを質問

①よくなっている

②どちらかというよくなっている

③変わっていない

④どちらかという悪くなっている

⑤悪くなっている

⇒ プラスのポイント

⇒ マイナスのポイント

※ 「⑥わからない」と「無回答」を除いて回答割合を算出



プラスのポイント - マイナスのポイント = DI

DI がプラス ⇒ 回答者の実感が、良好・改善の傾向にある。

DI がマイナス ⇒ 回答者の実感が、良好でない・後退の傾向にある。